

- 問1 北海道の内陸部における気温や降水の特徴を説明した内容として、正しいものはどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 一年を通じて降水量が多く、特に夏から秋にかけては台風の影響を頻繁に受けるため、年平均気温が高い。 | 2. 海の影響を受けにくいため、夏と冬の気温差（年較差）が非常に大きく、冬の月平均気温は氷点下になる。 | 3. 季節風の影響で冬に降水量（降雪量）が集中するが、海に囲まれているため一年を通じて気温の変化は小さい。 | 4. 暖流である対馬海流の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖であり、雪が降ることは稀である。 |
|---|---|---|--|
- 問2 日本の農業に関する統計データにおいて、北海道が他の地方と比較して圧倒的に高い数値を示している二つの項目の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数 | 2. 農業従事者一人あたりの農業使用量と、一人あたりのビニールハウスの面積 | 3. 総農家数に占める兼業農家の割合と、一人あたりの労働時間 | 4. 単位面積あたりの農業従事者数と、一人あたりの肥料使用量 |
|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
- 問3 水産資源を安定的に確保することを目的として、卵から人工的にふ化させた稚魚を、外敵から守れる環境である程度まで育ててから自然の海や川へ放流し、成長した後に再び漁獲する漁業の形態を何といいますか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 沖合漁業 | 2. 栽培漁業 | 3. 養殖業 | 4. 遠洋漁業 |
|---------|---------|--------|---------|
- 問4 北海道の根釧台地など、夏の気温が低く稲作に適さない地域で見られる、広大な土地を利用して乳牛を飼育し、生乳やバターなどを生産する農業形態を何といいますか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-----------|---------|
| 1. 果樹栽培 | 2. 酪農 | 3. 稲作単一経営 | 4. 施設園芸 |
|---------|-------|-----------|---------|
- 問5 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|--------------|-----------|
| 1. ユネスコ | 2. 国連児童基金 | 3. 東南アジア諸国連合 | 4. 世界貿易機関 |
|---------|-----------|--------------|-----------|
- 問6 北海道の内陸部に位置する地域の気候の特徴について、ある地点の統計を確認したところ、1月の平均気温がマイナス20度近くまで下がり、年間のすべての月において降水量が100mm未満という非常に少ない数値を示していました。この地域の気候について正しく述べたものはどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 夏に「やませ」と呼ばれる冷たい北東風の影響を強く受け、夏でも霧が発生しやすい。 | 2. 対馬海流の影響を強く受けるため、冬に雪が多く、年間降水量が2000mmを超える。 | 3. 冬の寒さが極めて厳しく、夏は冷涼で、年間を通して降水量が少ない。 | 4. 季節風の影響で冬の降水量は多いが、夏は太平洋高気圧の影響で乾燥する。 |
|--|---|-------------------------------------|---------------------------------------|
- 問7 日本の諸地域のうち、北海道地方について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、北海道には世界自然遺産に登録された知床があります。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 道庁所在地は函館市であり、本州との交通の要所となっている。 | 2. 道庁所在地は旭川市であり、上川盆地の中心都市である。 | 3. 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。 | 4. 道庁所在地は釧路市であり、水産業の拠点となっている。 |
|----------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|
- 問8 北海道の大規模な畑作地帯では、1つの土地において1年目に豆、2年目に小麦、3年目にてんさい、4年目にじゃがいもというように、数年周期で育てる作物を変える工夫が行われています。このような栽培方法を何といいますか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|-------|
| 1. 促成栽培 | 2. 二期作 | 3. 二毛作 | 4. 輪作 |
|---------|--------|--------|-------|
- 問9 石狩川の上流域に位置し、旭川市などを中心とする上川盆地で見られる大規模な農業の特色として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 冷涼な気候を活かして、牛を飼育し生乳を生産する酪農が最も盛んな地域である | 2. 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である | 3. 大規模な機械を用いた、小麦やてんさい（ビート）を生産する畑作が中心の地域である | 4. 夏の涼しさを利用して、キャベツやレタスなどを出荷する高原野菜の栽培が中心である |
|---|---|--|--|
- 問10 日本の都道府県別の統計において、北海道の耕地面積は全国の約25%という広大な面積を占めていますが、農業産出額の全国シェアは約13.5%となっています。この数値の比較から読み取れる、北海道の農業の特徴として適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|-------------------------------------|---|
| 1. 広大な耕地面積を有しているが、面積の割合に比べると農業産出額の割合は低くなっている | 2. 耕地面積と農業産出額のどちらも、全国の約半分以上を占める圧倒的な規模である | 3. 耕地面積の割合よりも、農業産出額の全国シェアの方が高くなっている | 4. 耕地面積は非常に広いが、農業産出額の合計は全国の都道府県の中で最も低い水準にある |
|--|--|-------------------------------------|---|
- 問11 北海道の歴史や文化において、古くからこの地に居住しているアイヌの人々に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 独自の言語であるアイヌ語を持ち、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の文化を育んできた先住民である。 | 2. 江戸時代に徳川将軍家から北海道の支配権を認められ、松前藩を組織して交易を独占した一族である。 | 3. 明治時代に北海道を開拓するために、農業を行いながら北方警備を担当した人々である。 | 4. 鎌倉時代に本州から渡り、北海道南部の館（たて）を中心に和人の勢力を広げた武士の集団である。 |
|--|---|---|--|
- 問12 2018年の統計において、畑作の農家一戸あたりの耕地面積を比較すると、全国平均が5万平方メートル未満であるのに対し、北海道は約20万から25万平方メートルという圧倒的に高い数値を示しています。このような広大な土地で効率よく耕作を行うために、北海道の農業で一般的に取り入れられている手法として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. ビニールハウスなどの施設を大規模に建設し、一年中同じ作物を育てる温室栽培の手法 | 2. 大型の機械を導入し、少ない人数でも広範囲の作業を短時間でこなす手法 | 3. 土地を細かく区画分けし、多種類の作物を少量ずつ組み合わせる栽培する手法 | 4. 豊富な労働力を一箇所に集中させ、手作業によるきめ細かな管理を行う手法 |
|--|--------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問13 北海道の稚内や知床といった地名は、ある人々の言語に由来しています。これらの地名の元となった言語を使用していた、北海道の先住民族を何と呼びますか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|------------|----------|
| 1. 弥生人 | 2. 縄文人 | 3. 蝦夷（えみし） | 4. アイヌ民族 |
|--------|--------|------------|----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 海の影響を受けにくいため、夏と冬の気温差（年較差）が非常に大きく、冬の月平均気温は氷点下になる。	海には温度を一定に保つ働きがありますが、北海道の内陸部は海から遠ざかっているため、その恩恵を十分に受けられません。結果として、夏は暑く冬は厳しい寒さとなり、年平均気温が低い北海道の中でも特に冬の寒冷さが際立つ傾向にあります。台風の影響や多雨な気候は、この地域の主な特徴とは言えません。
問2	答え 1 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数	北海道は明治時代以降の開拓の歴史から、農家一戸あたりの経営規模が他の都府県に比べて非常に大きいという特徴があります。広大な農地を少人数で効率よく耕作するために、トラクターなどの大型機械を積極的に導入した結果、一人あたりの耕地面積およびトラクター保有台数の両項目において、全国平均を大きく上回る統計値を示しています。
問3	答え 2 栽培漁業	稚魚の時期は自然界において外敵に襲われやすく、生存率が非常に低いという課題があります。この期間を人間が管理する施設で保護してから放流することで、資源の回復を図ります。最後まで人間が管理して育てる養殖業とともに「育てる漁業」と呼ばれますが、最終的に自然の海へ戻す点が最大の特徴です。
問4	答え 2 酪農	北海道東部の根釧台地では、夏でも気温が上がりにくい冷涼な気候を活かして、広大な土地で乳牛を育てる酪農が盛んに行われています。ここでは、大型機械を導入した大規模経営が行われており、日本全体の生乳生産において極めて重要な役割を果たしています。
問5	答え 1 ユネスコ	知床の流氷が育む豊かな生態系や、屋久島の樹齢数千年を超える屋久杉などは、人類全体で守るべき価値があるとして世界遺産（自然遺産）に登録されました。こうした遺産の選定や保護を主導しているのがユネスコです。よく似た名称のユニセフ（国連児童基金）は、子供の権利保護や支援を目的とした組織であり、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 3 冬の寒さが極めて厳しく、夏は冷涼で、年間を通して降水量が少ない。	北海道の内陸部は、海から遠く離れているために海による気温調節機能が働かず、放射冷却現象などの影響で冬の気温が極端に低くなります。また、周囲を山々に囲まれていることから、海からの湿った空気が入り込みにくく、日本海側などの沿岸部と比較しても年間降水量が少なくなるのが特徴です。
問7	答え 3 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。	北海道の行政の中心である道庁は札幌市に置かれています。札幌市は、碁盤の目のように区画された市街地を持つ政令指定都市です。北海道内には、知床という世界自然遺産が存在するほか、青森・秋田両県にまたがる白神山地や鹿児島県の屋久島など、日本の自然遺産が所在する自治体は、その場所や名称が中学地理において重要な学習事項となります。
問8	答え 4 輪作	1年ごとに異なる種類の作物を順序立てて栽培する仕組みを「輪作」と呼びます。これは、北海道のように広い農地を活用する地域で見られる特徴的な農法です。同じ土地で同じ作物を繰り返し作る「連作」を避けることで、土壌の質を保ち、収穫量が減るのを防ぐ効果があります。
問9	答え 2 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である	北海道の旭川市周辺に広がる上川盆地は、かつては泥炭地などが広がる耕作に不向きな土地もありましたが、大規模な土地改良と石狩川の水の利用によって、日本有数の稲作地帯へと発展しました。北海道において酪農が盛んなのは主に根釧台地、畑作が盛んなのは十勝平野といったように、地域ごとの農業の特色を区別することが重要です。
問10	答え 1 広大な耕地面積を有しているが、面積の割合に比べると農業産出額の割合は低くなっている	北海道の耕地面積は約1,147千haであり、全国の約4,496千haに対して約4分の1（25%）を占めています。一方で、農業産出額は約1,185十億円であり、全国の約8,798十億円に対して占める割合（シェア）は約13.5%にとどまります。このことから、北海道の農業は一戸あたりの経営規模が非常に大きいものの、単位面積あたりの収益性が高い施設園芸農業（ビニールハウス栽培）などが盛んな都市近郊の地域などと比べると、面積シェアに対する産出額シェアは低くなる傾向にあります。
問11	答え 1 独自の言語であるアイヌ語を持ち、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の文化を育んできた先住民である。	アイヌの人々は、日本列島の北部や周辺諸島に古くから定住している先住民族です。彼らは日本語とは系統が異なる「アイヌ語」という独自の言語を持ち、自然の中の動植物や現象を「カムイ（神）」として敬う独自の精神文化を持っていました。現在はその伝統や文化を保護・振興するための施策が進められています。他の選択肢にある屯田兵や松前藩などは、アイヌの人々とは対照的な立場や異なる歴史的背景を持つ集団です。
問12	答え 2 大型の機械を導入し、少ない人数でも広範囲の作業を短時間でこなす手法	北海道は明治時代以降の開拓の歴史的背景から、一戸あたりの耕地面積が他都府県に比べて非常に広いという特徴があります。これほど広大な面積を家族などの少人数で管理するためには、トラクターやコンバインといった大型の機械による作業の効率化が不可欠です。これを大規模・機械化農業と呼び、労働力不足を補いながら高い生産性を実現しています。
問13	答え 4 アイヌ民族	北海道には古くから、独自の文化を持つ先住民族であるアイヌの人々が暮らしてきました。現在でも北海道の多くの地名は、彼らの言語である「アイヌ語」に由来しています。例えば「稚内」はアイヌ語で「冷たい水の出る川」という意味の言葉に由来するなど、地域の自然の特徴が名前に反映されていることが多くあります。